

### 「 実習

!溶液 今回使った溶液は被染物5kgとして計算

- 染料
- ・カヤラスYellow RL 0.089% (6.6g)
  - ・カヤラスRed BWS 0.464% (34.8g)
  - ・カヤラスBlue 4BL 1% (75g)

ソーダ灰 1g/1r (60g)

ぼうしょう 被染物5kgに対して30% (1.5kg)

### ”型に挟む

被染物を木型に挟み込んでいく、木型の上に生地を置き上から木型を置き、生地を折り返しさらに木型を置いていく。このようにして木型と生地を積み上げていく。このときの挟むときの布の置き方で模様が変わる。はさみ終わったら大きなボルトで木型をかなり強い力で固定する。

### #湯通し

木型全体を湯通しする。もう一度木型がゆるむので、もう一度ボルトを締め直す。

### \$染色

どぶ付けの染色ではなく、循環型の染色法を採用。この方が染液の使用量が節約できる。90度～95度で10分、木型を裏返しさらに10分染色する。

### %水洗

水を入れ替えて2回木型のまま水洗する。

### &色止め

木型にはめたまま色止めを60度で20分行う。使用する色止め剤はサンフィックス (100cc)

### '水洗

色止め後木型からはずし、被染物を水洗。使用した木型などはハイドロで煮込み洗浄する。

### (乾燥

天日で乾燥して完成。挟むときの方法によって様々な模様が現れた。

(古関 崇尚)

## プログラムA-3 スクリーン版製作実習レポート

■開催日時：2006年8月5日(土)

■場 所：佐藤型紙店

■内 容：シルクスクリーンの製版



図案のチェック



送りのつけ方



紗張り



接着剤を塗る



感光剤の塗布



水を噴射し型を抜く